

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が横ばい傾向になれば、人流は増加し、店舗への来客数も増加する。後追いで売上増加が続くと想定される。
	◎	コンビニ（店長）	・新年度は学校や会社も通常どおり始まっているので、景気は良くなる。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・宿泊の稼働は、新型コロナウイルス前に戻りつつある。法人の会合等は、ようやく5割を超えたくらいであるものの、少しずつ増加している。
	○	百貨店（店長）	・売上、来客数共に、徐々にではあるものの回復の兆しはある。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていけば、Go To キャンペーン等の経済対策で、少しは良くなる可能性があるかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・企業のリモート勤務は継続状態で、来客数は新型コロナウイルス前に戻っていない。しかし、物流トラックの交通量は確実に増えているという実感はある。当店はリニューアルして商材構成も変化させている。時代についていき、売上を伸ばしたいと考えている。
	○	コンビニ（経営者）	・身の回りの状況に大きな変化は起きないと思うので、今までよりはやや良くなる。
	○	衣料品専門店（統括）	・通常なら今の時期は、これから夏に向けていろいろな祭りやイベント等がある。新型コロナウイルスも多少は収束に向かっていくような気がするので、これからまた、いろいろな行事が復活するのではないかと。そうなれば、やや良くなっていく。
	○	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの終息により、消費行動が健全化していくようになれば、景気は向上するのではないかと。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・今月～来月にかけてゴールデンウィークで、当地は観光地のため、かなりの人出が予想される。このまま新型コロナウイルスの感染者が多くならなければ良いと思っている。感染状況が落ち着いた状態で推移していけば、2～3か月前とは比べ物にならないほど人出はあると思うので、景気が良くなる感じはする。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・急激に良くなる理由はない。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、少し良くなると思うが、新型コロナウイルスに対する考え方が定着したせいとか、余り、活発、活況に物事をとらえて動くということは感じられない。今までの延長線で物事が流れている気がする。その他、他国の問題もあって、何となく警戒している雰囲気があり、盛り上がりには欠ける。これからはそれほど販売量等も増えることは期待できない。
	○	一般レストラン（経営者）	・行楽シーズンなので、少しは良くなると思うが、当店は値上げをするので、常連客の反応が気になるところである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊稼働やレストラン部門は、いずれも2018年比で110%、95%と売上に改善が見られる。しかし、宴会売上は2018年比43%と依然厳しい状況である。地域柄もあるのかもしれないが、官公庁、金融関係が飲食を伴う集まりを解禁していないため、関係団体の動きも鈍く、売上回復の足を引っ張っている。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・例年ゴールデンウィーク前後は、かなり動きがあるので、5月中旬～6月にかけて、今後どのように動いていくかによって違ってくる。宿泊は、安定して予約が入ってきている。料飲部門も、ある程度動いてくれることを期待して、やや良くなる。
	○	旅行代理店（経営者）	・ゴールデンウィークや夏休みが控えており、旅行需要の回復が見込まれる。
	○	旅行代理店（所長）	・5月末まで県民割が延長され、新型コロナウイルスの新たな感染拡大が起こらない限り、爆発的とは言えないだろうが、じわじわと持ち直していくのではないかと。その後のGo To Travel キャンペーン再開に期待している。
○	旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィーク明けに、新型コロナウイルスの新規感染者が増えなければ、更に期待できる。	
○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなると思っている。	

<input type="radio"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染数が下がってきたことで、外出機会も増え、レジャー等は回復傾向にある。
<input type="radio"/>	テーマパーク（職員）	・徐々に来園者が増加している。学生団体についても、例年どおりの時期に来園や予約が入ってきていることから、良くなる傾向にある。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・値上がりが続くなか、小売価格へ転嫁せざるを得なくなり、一段と財布のひもが固い状況は続く。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ウクライナの問題がなかなか落ち着かない。新しい新型コロナウイルスワクチンの活用で、新規感染者が少なくなってくれば、自然と人の動きも出てくる。当分の間は変わらないのではないかと。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	・Withコロナの生活様式を模索する動きがあり、旅行に対する意識も変わりつつあるのではないかと、客を見ていて感じることもある。修学旅行や遠足等の学生団体旅行だけではなく、一般団体旅行も復活しつつある。しかし、旅行先で土産を買ったりするまでには至っておらず、引き続き、我慢が必要かと思っている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減らない現状では、まん延防止等重点措置があってもなくても、夜の人出や外出等は増えることはない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は高水準で推移しているものの、人流は拡大傾向にあって売上も回復基調にある。ただし、依然として先行き不透明であることに変わりはない。また、エネルギー価格や食料品等の物価高が消費行動をより慎重にさせる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・ロシアでの戦争が終息しなければ、原材料の価格高騰が続き厳しい状況だと思う。現在は、1年前の契約金額の資材で仕事ができているが、来月でそれも在庫切れとなる。今後の発注では見積価格は150%アップで、入荷の確約もできない状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、部品メーカーが中国や東南アジア諸国にあり、各地のロックダウン等で部品が入荷しないため、確固たる生産計画を立てにくく、活気が今一つである。また、大規模小売店への来客数も今までほどではないようである。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルス、ウクライナ情勢、物価上昇の連鎖といった3つのネガティブ要素は当分継続すると思われる。消費に関して楽観できる要因はなく、厳しい状況が続くことを前提に考えざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・今一番の問題は、商材入荷が不安定なままだということである。客の動きが少しずつ出てきているので、商材入荷を待っている。靴は中国での生産が多く、新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンのため、輸出港のコンテナが動かないことが大きな原因で、入荷がいつになるか不明な状態である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除から、若干上向き傾向にはある。ただし、燃料や原料価格の値上がりやウクライナ情勢の長期化など足止め要素が多く、様子見期間はまだまだ続く。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・社会情勢にもよるが、現状のままと予想する。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・変わらないと回答したが、夏前に感染拡大が来なければ変わらないが、来れば悪くなる。ただし、新型コロナウイルスのワクチン接種率の上昇や経口薬販売がなされれば、良くなるのではないかと。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・まだしばらくは、今のような状況が続く気がする。
<input type="checkbox"/>	通信会社（総務担当）	・新商材が出るものの、需要を爆発的に喚起するほどには期待できない。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりの状態であることや世界情勢が不安定で物価上昇が予想される等、今後については不透明な状況である。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・自国内のGo To EatやGo To Travelキャンペーンでは一過性で、円安メリットを享受できない。海外からの観光客を受け入れる体制作りはできているのだろうか。

□	設計事務所（所長）	・行動制限が解除され、にぎわいは戻りつつあるが、再び新型コロナウイルス新規感染者数が増加しており、まだ先が見えない状況である。
□	設計事務所（所長）	・価格高騰の状況は、しばらく続く。
□	住宅販売会社（経営者）	・微増ながら状況は改善されつつあるので、このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば改善されると思うが、新たな変異株がまん延すれば、変わらない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・材料価格の高騰により再見積りをしなければならないケースが目立っている。売る側も買う側も決めきれない場面が増えている。今後も同様の状況が想定され、何らかの対応を考えなくてはならないと思っている。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・物価上昇による懸念があり、やや悪くなる。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりや原材料価格の高騰、売上の伸長度の低さ等を鑑みても、景気が改善していく方向性にはないのが、正直なところである。
▲	スーパー（総務担当）	・物価上昇により、悪化が懸念される。
▲	スーパー（商品部担当）	・生鮮、加工食品の値上げや品薄状況が続く、単価上昇傾向にある。消費者の動向や購入頻度、客単価の推移は良い方向へと進んでいるとはいえない。しばらくは前年割れが続くのではないかと。
▲	コンビニ（店長）	・商材の販売価格が次々と上昇しており、これがマイナス要因となってくる。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・もう2年以上同じような状態で、規制を強めたり弱めたりしながら進んでいる。ただ、本当にこの辺りで、政治判断がきちっとされない限りは、客は動かない。専門家としっかり意見のすり合わせをした上で、社会的にどういう状況が良いのかということ、国民全体が納得できるような説明がされない限りは、好転し、人の流れができる状況は生まれてこない。その辺りだけをきちんとしてほしいという期待はある。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新車生産にかかる半導体不足が解消されていないため、多くの車種に納期遅延の影響が発生している。販売車両不足の解消は6月ぐらいまでかかる状況で、受注活動も影響を受けている。各種値上げで消費が落ち込む心配である。
▲	住関連専門店（店長）	・ウクライナ情勢による諸物価の値上げが発生し、今後もしばらくは値上げに歯止めの利かない状況が続くため、やや悪くなる。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食部門は人材確保が厳しく、求人強化や人件費引上げ等の対応を取らざるを得ない状況が続いている。食材費等も価格上昇が続く一方、取引条件の見直しは、クライアントに相談には応じてもらっているものの、コストアップが先行する形となり、収支面での厳しい状況が当面は続いていく。
▲	通信会社（社員）	・身近では、エネルギー資源や生活用品、飲食物等の物価が上昇しており、買い控えなど経済にとってマイナスの影響があるのではないかとみている。今後、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が再発出された場合、マイナス成長に追い打ちがかかるのではないかと。
▲	通信会社（局長）	・燃料価格高騰や半導体不足の影響を受けて、機器の納入遅れが想定される。納入が遅れると、サービスが開始できない。
▲	ゴルフ場（従業員）	・物価上昇で、やや悪くなる。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・原材料価格の値上がり、仕入部材全般に広まってきたので、悪化する一方である。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・全く先が読めない世界情勢になったので、原材料価格の高騰、部品不足、並びに円安、これらが絡んでいたのでは、この国は本当にお先真っ暗である。どうか対策を打ってほしい。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客が全然来ない。特に、夜は駄目である。
×	一般レストラン（経営者）	・ガソリン、水道光熱費、食材、その他ほとんどの物価が上昇して、家計を苦しめるのではないかと懸念している。景気が良くなる要素が見当たらない。
×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・今後2～3か月先を考えても、為替が円高に進む要素はなく、物価上昇に対して消費者の給与が上がるとは到底考えられない。

	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がみえてこない。他国のようにマスク着用基準を明確にしてもらいたい。
	×	通信会社（経営者）	・経済を下支えするための金融緩和政策で、多くの国民が苦しんでいる。その結果、より安い物を購入しようとするデフレマインドを一層あおることになっているのではないか。仕入コスト上昇で利益はひっ迫、商材納期は遅延し、値上げをすれば客は逃げる。この上、更に指値オペで不安誘導とは余りの無策に落胆しかない。
	×	通信会社（経営者）	・売上が回復しない上に、そろそろ新型コロナウイルス関連融資の返済が始まる。個人、零細、中小企業からの発注はまだしばらくは期待できない。
	×	美容室（経営者）	・物価の上昇がよく報道されているが、実感もしている。食料品は食べないわけにはいかないので購入するし、光熱費も同様である。消費者の立場になれば当然だが、こうした状況では美容室への来店頻度は下がっていく。東京の美容室とは比較できない状況である。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	—	—
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今が出荷のピークである。今後はそれほどではないと思う。ただ、今年は新型コロナウイルスの影響で、巣籠もり需要のせい、出荷が多いように感じている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・得意先でも、皆、先がどうなるか分からないので、不安に思っている。新型コロナウイルスとウクライナの件も原因にはなっているだろうが、当社の仕事と直接関係があるかといわれても、はっきりとはしないので、答えようがない。何となく仕事量が少なくなって、良くなっていないということだけは確かである。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・5月はゴールデンウィークで9日間休みがあるので、若干落ちるとみている。5～6月は良くなる要素はないようである。取引先も全て同じではないか。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・ある程度は新型コロナウイルスの感染状況が収まってきているので、特に、レジャー、バーベキュー用品、好天による夏物家電のエアコンや扇風機等の物量は、前年並みを確保予定である。しかし、燃料、原油価格の高騰や協力会社の車両不足により、不安が残る状況である。
	□	広告代理店（営業担当）	・相変わらず、県内の新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりのままで、経済活動の鈍化は、当分変わらない。
	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス禍が収束傾向をみせているなかで、ウクライナ戦争が世界中の大きな懸念材料となってきている。このことに引きずられた世界経済の動向が、原料、資材、燃料費等の値上がりとなり、コストアップに悩まされる中小製造業が広範に増えてくると思われる。
	□	司法書士	・安定しているというか落ち着いた街なので、急に良くなることはない。ほとんど変わらずにこのまま行くのではないか。
	□	社会保険労務士	・中小企業の賃金は、物価上昇分ほど伸びないため、個人消費は低迷する。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・公共工事の予算が、減額されている。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・当社主力の自動車部品で、2～3か月先の内示も下方修正の情報が届いている。また、中国でのロックダウンの影響は広範囲に及び、長引くことは確実である。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・当社の取引先は多岐にわたるが、今まで比較的受注量が減らなかった食品関連の仕事がマイナス傾向になってきたため、やや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先から「今後段々、注文数が減っていくかもしれないので、ちょっと厳しいかもしれない」といわれている。今のところ、前年と同じかやや低い状態で動いているが、今後はやや厳しい状態になるかもしれない。
	▲	建設業（総務担当）	・工事量が増えてくる気配がなく、先行きが非常に怖い。
▲	不動産業（管理担当）	・建物オーナーから「経費削減のため清掃等の間隔を延ばして年間の回数を減らしたい」といった後ろ向きの相談が多く来ている。早いところでは4月から売上が減少する見込みである。	

	×	建設業（開発担当）	・今期の公共工事発注は前年比15%減と、長引く新型コロナウイルス禍の影響を受けている。当社受注も前期比10%減で、今期決算も厳しい状況である。建設業は10年来の不況業種になっていて、社員の高齢化が進み、ここ数年は新入社員の採用はできず、いろいろと問題を抱えている。この先、今期決算が心配である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍とはいえ、ゴールデンウィークで食料品、衣料、行楽地での宿泊、交通手段等でかなり動きが、高まっていたようである。住宅関連も、外壁等の改修も多少みられており、天候次第だと思うが、3か月先は期待を持ってやや良くなる。
	○	学校 [専門学校]（副校長）	・いろいろな場面で経済活動が活発化しており、今後の学校活動も多岐にわたって実施する方向で検討している。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後、電気、ガス、水道等のインフラのほか、ガソリン、食品等の更なる値上げ予想と、ウクライナ情勢の不透明さから、産業を問わず厳しい状況が続くと思われる。人材採用は、各社とも人手不足傾向に変化はないため、しばらくは変わらない。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品関連の製造計画が下がったため、やや悪くなる。
	▲	職業安定所（職員）	・国が新型コロナウイルスを封じ込めるような政策を続けていく限り、景気は良くなり悪くならない。
	×	*	*